

2016年1月1日～2023年12月31日まで当センターにおいて子宮体癌に対して腹腔鏡手術（ロボット支援下手術を含む）を受けられた患者様へ

日本赤十字社和歌山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております

1. 研究の名称

子宮体癌に対する低侵襲手術の有効性と安全性に関する後方視的検討

2. 研究の目的

当センターでの子宮体癌に対する腹腔鏡手術（ロボット支援下手術を含む）が安全かつ有効に行われているかを調査します。

3. 研究期間

倫理承認後 から 2024年12月31日までの予定です

4. 研究の概要

子宮体癌I期に対する低侵襲手術は婦人科腫瘍ガイドライン上推奨されており、全国で拡大傾向です。当院でも2016年より子宮体癌に対する低侵襲手術（腹腔鏡手術）が開始され、2020年よりロボット支援下による腹腔鏡手術を開始しています。癌に対する手術である以上、その予後には十分な注意が必要であり、さらには報告されている成績が当院でも実践できているかを確認する必要があります。当院で行われている子宮体癌に対する低侵襲手術の安全性や有効性を調査します。

5. 倫理審査委員会での審査と研究医療機関の長による承認について

この研究は、日本赤十字社和歌山医療センターの倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。

利益相反はありません。

6. 利用する情報について

日本赤十字社和歌山医療センターにおいて、子宮体癌に関する情報（病気、組織型）、手術情報（手術時間、出血量、合併症、入院期間）、予後の情報（再発や生存の情報）を診療録より収集します。そのため、今回の研究のために新たに組織を採取したり、追加の検査をうけていただくことはありません。

利用させて頂く情報は仮名化して扱われ、個人方法が本研究で利用されることはなく、あなたのプライバシーは厳重に守られ一切公表されません。データは日本赤十字社和歌山医療センター内部で厳重に管理・保存されます。

7. 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧について

この研究の内容をより詳しくお聞きになりたい場合には、研究に参加されている他の研究対象者等の個人情報等の保護や研究に支障が生じない範囲内で、研究計画書や本研究に関する資料を閲覧することができます。ご希望される場合には、下記までお問い合わせ下さい。

8. この研究への参加の拒否について

この研究の対象に該当する場合であっても、参加を望まない方のデータを研究に用いることは致しません。その際は、いつでも下記「研究責任者」「相談窓口」までご連絡下さい。この研究は過去の治療について検討することから、あなたが不利益を被ることはありません。

9. 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

(研究責任者) 日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科 山西優紀夫

(相談窓口) 日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

TEL：073-422-4171 (代表電話)

所在地：〒640-8558 和歌山市小松原通四丁目 20 番地